

科目名	マネジメント・ アカウンティング論特講	担当者	マルモリ 丸森 カズヒロ 一寛	期間	通年	単位数	4
-----	------------------------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座では、経営管理者のための会計情報の利用方法を学び、経営管理者として意思決定に適切に利用できるようになることを目的とする。隣接科目である「フィナンシャル・アカウンティング」は外部の利害関係者への報告を対象としているのに対し、本講座は内部の経営管理者の意思決定に役立つ会計情報を対象としている点で相違する。具体的には、「経済性分析による意思決定」と、「予算管理と業績評価」のメカニズムと利用方法を習得し、経営管理の現場で優れた意思決定とマネジメント・コントロールを行うことができる実践能力の獲得を目的としている。</p>		
到達目標	<p>I.会計情報をはじめとする定量情報をもとに合理的な意思決定を行う方法と、I I.予算の作成およびそれに基づいた業績評価の方法、を習得し、それを経営管理の現場における意思決定に利用できるようにすることである。具体的には、具体的には、I.について「代替案の評価と選択」、「投資案の評価と選択」、「不確実性下の意思決定」、I I.について「戦略的観点からの利益の評価」ができる、通学制のMBAコース修了生と同等のレベルを到達目標とする</p>		
学修方法	<p>全体を4つのテーマに分け、それぞれのテーマ毎に学習目標を設定している。学習目標毎に基本教材あるいは副教材の該当箇所を明示し、それぞれの例題の回答を準備することにより、各テーマの理解度が確認でき履修者が自習によっても学習目標がクリアできるように工夫されている。その際理解が困難であったり疑問が生じた場合には、速やかにメールにより担当教員に質問することにより不明点を残さないように学習を進めていただきたい。</p>		
スケジュール	<p>前半は6月末までに一通りの学習を終了させ、「基本教材1」のレポート課題1を7月15日、レポート課題2を8月15日までに、それぞれ初稿を提出していただき、9月15日を最終稿の提出期限とする。</p> <p>後半は、11月中旬までに一通りの学習を終了させ、「基本教材2」のレポート課題1を11月15日、レポート課題2を12月15日までに、それぞれ初稿を提出していただき、1月11日を最終稿の提出期限とする。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	各テーマの学習目標を理解した内容となっているか。 結論が明確であるか。 結論にいたるまでの説明がロジカルであるか。 重要な論点をおさえているか。
	平常評価	30%	活発に質問をしたか（加点のみで減点はなし）。 レポートの提出期限を厳守したか。 レポートの初稿から最終稿までの改善度及び努力の程度。
履修者への要望	<p>フィナンシャル・アカウンティング、マーケティング、経営戦略の基本的な知識を習得しているか、あるいは当該科目を履修中であることが望ましいと考えます。計画的かつ学修方法において示した時間を投入して学習できることが、履修要件と考えています。</p> <p>また、実践的な能力を獲得するためには、「手を動かす。」事が不可欠です。例題及び演習は必ず回答を準備してから解答と照らし合わせ、疑問点は躊躇することなく教員にメールで質問し、各テーマの学習目標を着実にクリアしてください。また、回答の準備、質問あるいはレポートにおいては「限られた情報を前提に常に意思決定を行う。」という姿勢で臨んでください。</p> <p>なお、履修希望者になるべく早く学修をスタートさせていただくために、履修登録を行うと同時に担当教員 (marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp) にその旨メールにて連絡をお願いいたします。勿論、その後の履修取り消し期間内において取り消しをすることは構いません。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名：千住鎮雄，伏見多美雄 教材名：『新版 経済性工学の基礎』（日本能率協会マネジメントセンター，1994年） ISBN:4-8207-1036-2 3,107円+税
	採算的意思決定に関する諸理論を統合整理し，豊富な事例により自学自習ができるように工夫されており，国内で評価の高いMBAコースの基本テキストとして採用されている。
履修上のポイント	① 「原価情報と意思決定」，② 「投資の意思決定（短期）」，という各テーマについてその考え方を理解することにより，実務において「代替案の評価と選択」及び「投資案の評価と選択」ができるようになることを目指す。
レポート課題 1	ケース「リライアブル製作所」を分析し，生産管理について経営管理者として適切な意思決定とその根拠について論じてください。 留意点：「原価情報と意思決定」がテーマです。
レポート課題 2	ケース「株式会社NBS」を分析し，①全社最適の観点からの意思決定，②分権的組織の問題点，について論じてください。 留意点：「投資の意思決定（短期）」がテーマです。

基本教材 2	
教材の概要	著者名：ロバート・サイモンズ 教材名：『戦略評価の経営学』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN: 978-4478470657 4,300円+税
	戦略を実行するための新たな管理会計として，競争，戦略，組織デザインと統合させた最新の業績評価と統制の手法を紹介している。ハーバード・ビジネス・スクールMBAプログラムの人気科目の教科書を邦訳したものである。
参考図書	著者名：早坂清志 参考図書名：『すぐわかるポケット！ Excel 関数 パーフェクト事典（すぐわかるポケット！）』（アスキー・メディアワークス，2011年）ISBN: 978-4048860666 1,522円
履修上のポイント	③ 「投資の意思決定（長期）」，④ 「予算管理と業績評価」，という各テーマについてその考え方を理解して，実務において「不確実性下の意思決定」及び「戦略的観点からの利益の評価」ができるようになることを目指す。
レポート課題 1	ケース「レインボー油田」を分析し，経営管理者として適切な意思決定とその根拠について論じて下さい。 留意点：「投資の意思決定（長期）」がテーマです。
レポート課題 2	ケース「エレクトリックカンパニー社」を分析し，業績の評価とその根拠について論じてください。 留意点：「予算管理と業績評価」がテーマです。